

# 図書館だより 9月号

発行日 2017年9月21日

発行 戸塚高校図書委員会

## 古本市



文化祭で古本市を開きました。



### 360 冊売れました！！

### 売り上げは 18000 円です！！

あなたはお気に入りの本を見つけられたでしょうか？

売り上げは神奈川新聞厚生文化事業団に寄付します。

ご協力ありがとうございました。





# 本の紹介コーナー！！

図書館においてある本の中で図書委員がオススメする本を紹介します。

「世界から猫が消えたなら」 川村元気



一週間ごとにさまざまなものが消えていってしまいます。自分にとって人生で本当に大切なものは何なのかを教えてください。終盤は涙が止まりません。この本を読むと温かい気持ちになります。

「図書館戦争」 有川浩



公序良俗を乱す表現を取り締まる「メディア良化法」施行下、高校時代に出会った、図書隊員を名乗る“王子様”の姿を追い求め、図書隊に入隊した主人公。本の内容や言葉を規制される世界で、本を守るために戦う主人公の恋と成長から目が離せません。

「横道世之介」 吉田修一



横道世之介という優しくてお人好し大学生の日常を描きながら、数年後の登場人物が当時を懐かしむという作品です。何気ない馬鹿な日常が物語中盤にふいに訪れるある出来事をキッカケに、とてつもなく大事で貴重なものなんだと気づかせてくれます。それがただの青春小説にはない余韻を残します。中盤のその「キッカケ」に楽しく読んでいた心が揺さぶられ、作品の印象がガラリと変わる。今を大事にしたいくなる、友達を大事にしたいくなる作品です。

再び紹介します！！

「君の臓腑を食べたい」 住野よる



病院でたまたま落ちていた日記を見た僕はその持ち主が自分のクラスメイトだと知った。山内桜良は臓腑を病んでおり、余命一年だった。秘密を共有することによって今まで友達もおらず人付き合いのない僕は彼女から多くのことを学ぶことになった。そして僕にとって彼女がどんな存在なのかを知った時、彼女はこの世からいなくなってしまう。彼女が自分をどう思っていたか知りたかった僕は彼女の家へ日記を見に行く。最後はとても感動する話です。